

日本インプラント臨床研究会 新人発表会を終えて

日時：平成31年4月7日(日)
場所：都市センターホテル



酒井 崇充
(東京都)



島田 惇平
(埼玉県)



2018年度日本口腔インプラント学会認定講習会の受講を終えて、2019年4月7日に新人発表会が都市センターホテルにて行われました。

日進月歩で進化している歯科治療の技術は日々目覚ましく、患者様により良い治療を提供できるようになり、この講習会に参加致しました。

日本インプラント臨床研究会では講師陣は著名な先生ばかりで、インプラントに必要な基礎的な知識と技術から高度なことまで幅広くプログラムされており、大変勉強になったと同時に、日々継続して学ぶことの大切さを痛感致しました。

23期に当たる我々新人会員は、インプラント治療未経験な先生から臨床経験豊富な臨床医、大学在籍の医局員から、口腔外科の先生まで幅広く、発表内容も多岐にわたり、他院へ刺激になり、非常に多くのことを吸収することが出来ました。私自身、多くの著名な先生に症例をみていただき、この新人発表会は改めて自分の症例を見直すことができるとても貴重な経験となりました。

新人発表とはありますが、座長の進行から質疑応答なども活発に飛び交い、さながら学会発表のようで、また座長や理事の先生方から指導を兼ねた鋭い質問や、貴重なアドバイスなどもいただき発表者全

員が充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか。

一年間にわたり学んできた知識を日々の臨床に取り入れ、またインプラント専門医取得に向けてCISJにて研鑽を積んでいきたいと思っております。

最後に、今回貴重な発表する機会を与えて頂き、そして運営をしてくださった先生方に厚く御礼申し上げます。
酒井 崇充

私は歯科医師臨床研修修了後、当会副会長である浅賀 寛先生の歯科医院に入局させていただき、インプラント治療に携わるようになりました。そして浅賀先生に勧められ、前年度から当会に入会させていただきました。先日認定講習会を終え、新人発表会という場で発表させていただきました。

私自身、医院内の勉強会などでの発表の経験はありますが、今回のような公の場での発表はほとんど経験したことがなく、また、インプラントのスペシャリストの先生方を前に発表することに非常に緊張しました。

新人発表会では1年間一緒に認定講習会を受講した同期の先生方の発表でしたが、同期とはいえ、発表に慣れている先生、インプラントの歴も長く、大きいケースを発表する先生、1本のインプラントを



佐藤 瞳
(東京都)



埋入するために徹底的な診査診断を行ったケースを発表する先生などレベルは様々でした。私はインプラントの歴は浅く経験も少ないため、同期の先生方の発表が非常に勉強になり、参考になりました。そして自分の発表では、上の先生方は発表に対して批判的な意見ではなく、「こうするともっと良かったかもしれない。」「こういうやり方もある。」など、自分では見えていなかった視点から様々なアドバイスしてくださいました。

当会では皆で高め合っていく雰囲気を感じます。入会したばかりの私はまだ指導していただく側しかありませんが、今後も毎年の全員発表会は必ず参加し、同期の先生や先輩方とともに成長して行きたいと思います。
島田 惇平

2018年4月から11月にかけて認定講習を受講し、その集大成として2019年4月7日都市センターホテルにて新人発表会が開催されました。同期全員の参加は叶いませんでしたが、多くの受講生が各々の症例を持ち寄り発表することで、一般会員 となることができました。

およそ8カ月の講習では、著名な先生方の貴重な講演、実習を受けることができました。基礎から臨床

応用まで丁寧に教えて頂き、翌日から実際の臨床に生かしていくことができました。中には応用編もあり、臨床の難しさ、楽しさ、こんな臨床ができるようになりたいという憧れ、いろんなことを感じることもできました。

そして新人発表当日、私はあまり発表慣れをしていないので、当日はとても緊張したのを覚えています。発表後は、座長の先生だけでなく数名の先生方にコメントをいただくことができ、非常に良い経験となりました。私のように、普段人前で発表する機会の少ない先生にとって、新人発表の場は非常に良い発表の場と思います。

私は新人で経験症例も少ないので、一つ一つの症例において計画から手術当日、経過にかけて丁寧に症例を追うことを心がけています。今回の症例は、院内の日本インプラント臨床研究会の先輩の先生にご指導いただきました。発表資料を作るにあたり、より深く考察することができたと思います。

最後に、この約8カ月の講習と新人発表は、私にとって非常に有意義な時間となりました。まだまだ知識も経験も浅いですが、先輩先生方にご指導いただきながら、今回学んだことを今後の歯科臨床に生かしていきたいと思います。
佐藤 瞳